

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2019-193503 (P2019-193503A)
【公開日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)
【年通号数】公開・登録公報 2019-044
【出願番号】特願 2018-86462 (P2018-86462)
【国際特許分類】

H 0 2 G 3/08 (2006.01)

H 0 5 K 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 G 3/08

H 0 5 K 7/00 M

【手続補正書】
【提出日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ケーブルが通る第 1 の穴部が形成され、変形可能なシール部材と、
前記シール部材を収容するシール収容部および該シール収容部に繋がって前記ケーブルが通る第 2 の穴部が形成されたケースと、
前記ケーブルが通る第 3 の穴部および前記シール収容部内に収容された前記シール部材を押圧するための押圧部が形成され、前記ケースに固定された押圧部材とを有し、
前記シール収容部における前記第 2 の穴部に繋がる部分と前記押圧部材における前記押圧部と前記第 3 の穴部とを繋ぐ部分のうち少なくとも一方に、前記ケーブルに対して傾いた斜面が形成されており、
前記斜面と前記ケーブルとの間に、前記押圧部により押圧された前記シール部材の一部が入り込んでいることを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

前記押圧部と前記シール収容部における前記押圧部に対向する面との間で圧縮された前記シール部材のうち前記第 1 の穴部の周囲の部分が、前記斜面によって前記ケーブルに向かって押し出されていることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記押圧部材は、前記第 3 の穴部の両側に前記ケースに固定される固定部を有し、
前記第 3 の穴部と前記固定部が並ぶ方向を第 1 の方向とし、前記第 1、第 2 および第 3 の穴部が連なる方向を第 2 の方向とし、前記第 1 および第 2 の方向のそれぞれに直交する方向を第 3 の方向とするとき、
前記ケースの前記第 3 の方向の寸法が、該ケースの前記第 1 の方向の寸法以下であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記ケースの前記第 3 の方向の寸法が、前記押圧部材の前記第 1 の方向の寸法より小さいことを特徴とする請求項 3 に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記ケースの内側に、前記第 3、前記第 1 および前記第 2 の穴部を通して前記ケース内

に延びる前記ケーブルを曲げるためのガイド部が設けられていることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記ケースは、前記ケーブルに接続された電気回路基板を保持していることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の電子機器。

【請求項 7】

電気回路基板に接続され、前記ケースの外部に突出するコネクタを有することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の電子機器。